

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
世界遺産登録記念 京都シンポジウム

宗像・沖ノ島と 日本の古代文化遺産

2017年11月18日(土)13:00~16:45

龍谷大学 響都ホール 校友会館

(JR京都駅八条東口徒歩1分、京都アバンティ9階)

- 12:30~ 開場
13:00~13:10 開会行事
13:10~13:20 遺産群紹介映像上映
13:20~14:20 講演:「神宿る島」沖ノ島と東アジア
海の道むなかた館館長 西谷正
14:20~14:35 休憩
14:35~15:25 講演:古代日本と宗像・沖ノ島
東京大学大学院教授 佐藤信
15:25~15:40 休憩
15:40~16:40 パネルディスカッション:

参加無料
要申込
(先着300名)

沖ノ島から考える、日本の古代文化遺産の価値とその継承

パネリスト:西谷正 佐藤信

龍谷大学文学部教授 北野信彦

文化庁文化財調査官 鈴木地平

コーディネーター:磯村幸男(福岡県世界遺産登録推進室)

16:40~16:45 閉会行事

沖ノ島



新原・奴山古墳群



宗像大社辺津宮

主催:「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

共催:龍谷大学

後援:文化庁、日本イコモス国内委員会



古都京都の文化財

東寺(教王護国寺)



百舌鳥・古市古墳群

仁徳天皇陵古墳(堺市提供)



古都奈良の文化財

平城宮跡(奈良文化財研究所提供)

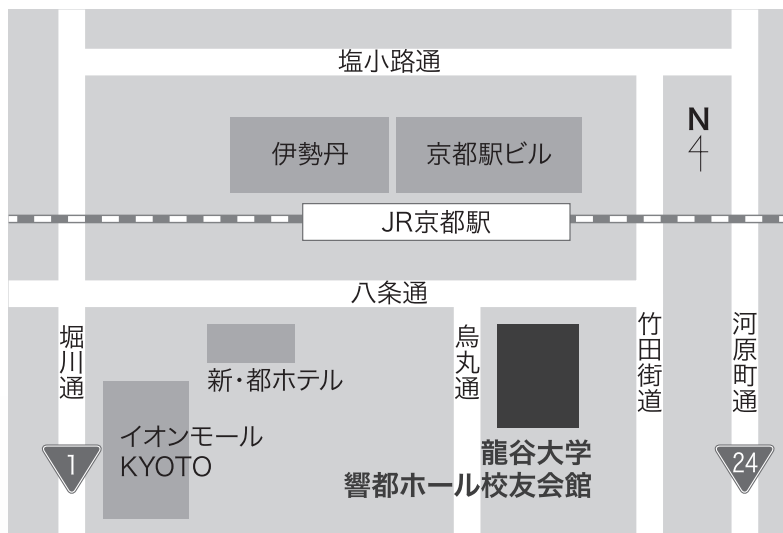
宗像・沖ノ島と日本の古代文化遺産

2017年7月、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は世界遺産に登録されました。

4世紀から9世紀の東アジア諸国間の重要な交流を物語り、航海の安全に関わる古代祭祀が行われた沖ノ島を神聖な島として崇拝する文化的伝統の顕著な物証である本遺産群は、東アジアの中で展開した日本の古代史と深い関わりをもっています。古代から日本の中心として発展し、豊富な文化遺産をもつ関西、京都では初めてのシンポジウムを開催します。

2017年11月18日(土) 13:00~16:45
(開場12:30~)

龍谷大学 響都ホール 校友会館
京都市南区東九条西山王町31 京都アバンティ9階



JR京都駅八条東口より徒歩約1分
※アバンティ店内東側エレベーターをご利用ください。

申込方法

EメールもしくはFAXで、氏名(FAXの場合は電話番号も)をお知らせ下さい。

申込先

Eメール:
sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp
(タイトルを「シンポジウム申込」としてください)

FAX: 092-643-3163

(福岡県世界遺産登録推進室)

※頂いた個人情報は受付管理のみに使用します。

※申込確認のお返事は行っておりません。定員超過の場合は事務局より連絡いたします。

定員
300名

FAX送信用

氏名

電話番号

お問い合わせ: 福岡県世界遺産登録推進室
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-643-3162 FAX:092-643-3163
E-mail: sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp
www.okinoshima-heritage.jp

講演者紹介



西谷 正 (にしやに ただし)

海の道むなかた館館長、九州大学名誉教授

専門分野は朝鮮半島を中心とした東アジア諸地域における古代国家形成史ならびに交流史。近著に『古代日本と朝鮮半島の交流史』(同成社)など。



佐藤 信 (さとう まこと)

東京大学大学院教授

専門分野は日本古代史。地域とその交流の歴史から律令国家像を見直す。近著に『大学の日本史1 古代』(山川出版社)、『古代東国の地方官衙と寺院』(編、山川出版社)など。

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUGASAKI UNIVERSITY